

緑ヶ丘自治会 保存版

防災マップ

平成25年度 緑ヶ丘自治会 防災・防犯部作成

河合町緑ヶ丘周辺は地形的に高台にあり、浸水や洪水被害には比較的あいにくいとされています。

そこで、直接の影響が大きいと想定される活断層型中央構造線断層帯及び海溝型東南海地震・南海地震、それに全国どこにでも起こりうる直下型地震に絞って調査いたしました。

近い将来、起こりうるとされるこれら天災について、正しく知って、適切な防災に役立てていただきたいと思います。



緊急時に備えてメモしておきましょう!!

家族の名前	生年月日	血液型	携帯電話番号などの緊急連絡先
	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		- -
	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		- -
	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		- -
	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		- -
	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		- -

今日から始める地震対策

家屋の地震対策

阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の約8割が家屋や家具の下敷きによる圧死であったと言われています。

大規模地震の切迫性が指摘される今、住宅の倒壊を防ぐための対策をしておくことが大切です。建物の耐震性を調べ、問題があれば専門家に依頼し、補強や改修などの対策をしておきましょう。

家の中の地震対策

地震発生時に、家具の転倒等により逃げ道を塞がれたりしないように、日頃から安全に脱出できる準備をしておきましょう。

家具などに地震対策をしましょう！

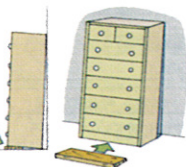
■ 収納に工夫を

- 重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。
- 本棚等は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間をつくらないようにしましょう。



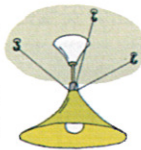
■ 置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に板を入れ壁にもたれ気味に置きましょう。
- 寝る場所に家具が倒れてこないように配置しましょう。



■ 照明器具の補強を

- 天井に直接取り付けタイプの照明を使用しましょう。
- つり下げ式の場合は、鎖と金具を使って数か所留めて補強しましょう。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープで留めておきましょう。



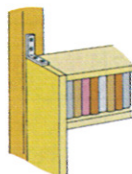
■ 落ちる危険のあるものは置かない

- テレビはできるだけ低い位置に固定しておきましょう。
- 家具の上には落ちる危険のあるものを置かないようにしましょう。

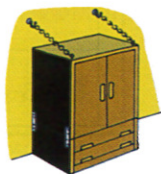


■ 家具に耐震金具を

- 転倒防止金具
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床等に固定するタイプとがあります。家具や室内の状況に応じて選びましょう。



- 重ね留め用金具
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎましょう。



- 扉・引き出し開放防止金具
扉・引き出しが開かないようにしましょう。さらに、収納物の落下を防止するために、棚板に滑り止めのふきん等を敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。



■ ガラスの飛散防止対策を

- 飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 食器棚や額縁等に使用されているガラスにも飛散防止フィルムを貼りましょう。



地震が起きたらどうするか？

地震発生!!

1~3分

5~10分

10分~数時間

■命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- すばやく火の始末。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保。



■家族を守る

- 家族の安全を確認。
- 火元を確認・初期消火。
- 靴をはく。
- 必需品を手元に用意。
- 余震に注意。



■地域を守る

- 隣近所の安全を確認。
- ラジオ等で情報を確認。
- 電話はなるべく使わない。
- 電気のブレーカーを切る。
- 家屋倒壊等の恐れがあれば避難。



■避難生活では

- 協力して消火・救出活動。
- 生活必需品は備蓄でまかなう。
- 災害情報、被害情報の収集。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意。
- 避難所では集団生活のルールを守る。



地震発生・・・心の備え10か条

地震から身を守る最大のポイントは、日頃の「心の備え」です。火災等の二次災害を引き起こさないためにも、いざという時の行動を覚えておきましょう。

1. まずわが身の安全を図れ

ケガをしたら火の始末や避難が遅れます。家具の転倒や落下物には十分な対策をしましょう。



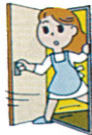
2. すばやく火の始末、あわてずさわがず冷静に

「火を消せ!!」とみんなで声をかけ合い、調理器具や暖房器具等の火を確実に消しましょう。



3. 非常出口を確保する

建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがあるので、出口を確保しましょう。



4. 火が出たら、まず消火を

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め、初期消火に努めましょう。



5. 外へ逃げるときはあわてずに

外に逃げるときは、瓦やガラス等の落下物に注意しましょう。



6. 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりには近寄らない

ブロック塀、門柱、自動販売機等は倒れやすいので注意しましょう。



7. 山崩れ、がけ崩れに注意する

山間部で地震を感じたら、早めに避難しましょう。



8. 避難は徒歩で、荷物は最小限にする

避難場所へは車を使わず、徒歩で避難しましょう。



9. みんなが協力しあって応急救護

お年寄りや身体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。



10. 正しい情報をつかみ、余震に注意する

噂やデマに振り回されず、テレビやラジオで正しい情報をつかみましょう。



緊急電話番号

河合町役場
☎0745-57-0200
西和警察署
☎0745-72-0110
県立三室病院
☎0745-32-0505
恵王病院
☎0745-72-3101
奈良友紘会病院
☎0745-78-3588

非常持ち出し品チェック



避難後の生活必需品として、米、おかず(レトルトも便利)、缶詰などの食料品や飲料水(ペットボトルに貯蔵)、卓上コンロ(ガスボンベ)、毛布や寝袋、バケツ、洗面用具、携帯トイレなどを用意(最低3日分)しておきましょう。

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震などの大災害発生時には、電話が繋がりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言を録音する場合 ☎171→1→自分の家の電話番号(市外局番から)→録音

伝言を再生する場合 ☎171→2→連絡を取りたい方の電話番号(市外局番から)→再生

インターネットによる情報入手

河合町公式ホームページ <http://www.town.kawai.nara.jp/>

奈良県公式ホームページ <http://www.pref.nara.jp/bosai/>

